

# 未来づくり懇談会（片俣）会議録

日 時：平成29年2月13日（月）  
19：00～20：20

場 所：片俣自治公民館

出席者：市長、教育長、総合政策課長、  
教育総務課長、総合政策課長補佐

1 開 会 19：00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

○持続可能な矢板西部地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口推計、西小学校についてのアンケート等について説明。

5 意見交換

Q1 矢板から出ていった人を呼び戻すためのツールとしてロードバイクが使える。他地区のライダーを引き込めるよう市でうまくPRしてほしい。

A1 自転車を活用したまちづくりには市の若手職員が取り組んでいる。単なるサイクルイベントだけではなく、経済効果をもたらせるよう他市町に負けない取り組みをしていく。

平成28年度～	チャリ整え会・サイクリングイベントを月1回開催
平成28年8月	八方ヶ原ヒルクライムレースの開催（参加者数534人）
平成29年7月	Jプロツアーやいた片岡ロードレース初開催 （参加者数506人、来場者数約7000人）
平成29年8月	八方ヶ原ヒルクライムレースの開催（参加者数662人）
平成28年度	「じてんしゃの駅」として市内店舗等にバイクラック等の設置（9件）
平成29年度	「じてんしゃの駅」として市内店舗等にバイクラック等の設置（22件）

Q2 学校をどうするか考える前に人口を増やす方法を考えるべき。どこの学校へ行って良いという時期があった。

A2 学区を厳格に運用していない時期はあったが、今は特別な事情が無い限り住所地の学区に通うことになっている。

Q 3 とちぎフットボールセンターの用地は市で買ったのか。財政への影響、経済効果、費用対効果はどうか。

A 3 土地はJ Tから市が購入した。できるだけ財政に影響を与えないよう地方債を使い年数をかけて少しずつ返済する。経済効果、費用対効果、利用想定等はシンクタンクに調査を依頼している。

平成 28 年 9 月	民間活力導入可能性調査業務を委託
平成 29 年 6 月	民間活力導入可能性調査の結果を議会全員協議会で報告。
平成 29 年 7 月	NPO 法人たかはら那須スポーツクラブから民設民営での実施提案書提出。
平成 29 年 10 月	事業計画検証業務を委託 検証結果、実現可能性ありと報告。
平成 29 年 12 月	12 月定例会で NPO 法人たかはら那須スポーツクラブに 施設整備及び運営を委ねる旨を表明。

Q 4 企業誘致の具体的な策は。

A 4 昨年中に複数企業の誘致が決まり有効求人倍率が 1. 1 4 倍になった。優良企業はあるが、あまり市民に知られていない現状があるため、昨年 1 2 月に市で就職セミナーを開催した。昨日 (2 / 1 2) は東京で U ターン意見交換会を行った。市として市民に P R することが必要。また林業、木材産業、農業等の地場産業の雇用を生み出し第一次産業を活性化することが地域社会を守ることにつながる。

平成 28 年 12 月	矢板市企業紹介冊子作成 矢板市企業研究セミナー開催
平成 29 年 2 月	やいた U ターン意見交換会開催
平成 29 年 11 月	矢板市企業紹介冊子作成 作新祭出展
平成 30 年 2 月	保護者向けセミナー開催
平成 28 年度	高野商運、東色ピグメントの進出決定
平成 29 年度	小出鋼管の進出決定

○ 5 田んぼは休耕、山は伐採したままにしているところが多い。公社化して山の中に牧場を作り、市営住宅の空き部屋に従業員を入れる等の有効利用の方法を考えてほしい。

○ 6 片俣塩田 1 号線と小川商店の後ろに通じる道路の舗装が悪く狭いため改善してほしい。

○ 7 雪が降ったときに運動公園入口が滑るので、運動公園入口まで除雪してほしい。

○ 8 幸ヶ丘団地の道路を補修してほしい。

Q 9 防災無線が聞き取れないので改善してほしい。

A 9 防災無線だけで全てをカバーするのは難しいので、メール配信サービスや電話サービスなどの代替方法を利用してほしい。

平成 29 年 5 月	防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布
平成 29 年 6 月	防災メール登録及び防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布。
平成 29 年 11 月	防災行政無線放送確認するためのフリーダイヤル（通話料無料）電話番号のチラシを全戸配布。
平成 30 年 1 月	防災行政無線の聞こえ方調査を実施

6 閉 会 20 : 20